

皇室を身近に感じる

スポットを訪れよう

こんの
今野ひより
(しがく総合研究所)

国民と共にある皇室

くゆかりの地から感じるく

日本国の象徴であり、国民と共にある皇室を身近に感じるスポットは、日本中に多くあります。それにも関わらず通り過ぎていく方も多くいるのではないのでしょうか。本稿では、皇室のありがたみをより深く感じられる、皇室ゆかりのスポットをご紹介します。ぜひ、お住まい周辺の皇室ゆかりの地を探し、訪れてみてください。

国民への配慮を感じる

く武蔵陵墓地く

東京都八王子市のJR高尾駅から15分歩いた所に、大正天皇・貞明皇后・昭和天皇・香淳皇后の御陵があります。御陵とは天皇のお墓ですが、歴代天皇の御陵はもとも都があった関西に多くあり、特に奈良県には約80の御陵が存在しています。都が関東に移り、初めて関東に営建されたのが、武蔵陵墓地です。武蔵陵墓地では、上皇・上皇后両陛下の御陵

の営建が始まっています。営建に関しては、次世代の皇室の方々も離れ離れにならないためにという両陛下のご意向が反映され、武蔵陵墓地の敷地内に御陵が営建されることとなりました。また、国民への負担を減らすために大きな面積のものではなくすでにある武蔵陵の敷地内で、必要な規模のものにとどめてほしいというお気持ちを示しています。こういった国民への配慮も感じながら、訪れてみ



武蔵陵墓地

てください。

若者が皇室に触れる

く迎賓館赤坂離宮く

今、若者で賑わい撮影スポットにもなっている迎賓館赤坂離宮。東京都港区、JR総武線の四ツ谷駅より徒歩7分の場所にあります。ネオ・バロック様式による宮殿建築物は日本唯一であり、この洋風な建物が若者の撮影スポットとして人気となっています。敷地内にあるアフタヌーンティーが人気で、映えスポットとなっているのですが、このような場所も調べてみると、皇室にまつわるスポットなのです。迎賓館赤坂離宮は、大正天皇の住居として作られ、のちに昭和天皇、上皇陛下の住居となり、現在は外交の場として使われています。内装は、美しいシャンデリアや西洋

最後に、皇室の歴史を感じることできる場所を紹介します。東京都千代田区にある皇居の東御苑には、三の丸尚蔵館があります。

皇室の歴史を展示物から感じる 〜三の丸尚蔵館〜

いを述べています。それを大事に受け継いできたのが歴代天皇です。



橿原神宮

風の壁紙に取り囲まれ、まるで貴族になったような気分を味わうことができます。一度行って体験してみてください。
他にも、若者のデートスポットとしても有名な吉祥寺にある井の頭恩賜公園も「恩賜」とつくことからわかるように皇室から下賜された皇室ゆかりの地です。若者が集う人気のスポットも意外と皇室にまつわる場所が多く



迎賓館赤坂離宮

あるのです。

皇室の原点 〜橿原神宮〜

奈良県橿原市にある橿原神宮。神武天皇即位の地、畝傍山うねびやま東南麓に橿原神宮が御鎮座し、創建となりました。橿原神宮の隣には、初代天皇の神武天皇陵があります。神話には、神武天皇が高千穂に降り立ち、平和で豊かな国をつくるために東の地を目指して旅に出るエピソードがあります。その旅路で兄を失うなど災難に見舞われるも、八咫鳥やたがらすに導かれ金鷲きんじゆの輝きに助けられ、紀元前660年の太陽暦でいう2月11日に、初代天皇として即位したとされています。神武天皇は、「世界中に暮らす人々が家族のように仲睦まじく暮らしていくことは良いことである」という建国の想

昭和天皇まで代々継承されてきた御物のうち、美術・工芸品等約6,300点が、上皇陛下と香淳皇后により国に御寄贈され、展示されています。皇室の歴史がギュッと詰まっている場所です。新施設以降のため現在休館中であり、全面開館は令和8年を予定しています。すべての展示物を見ることができるのは少し先になりますが、令和5年11月3日の文化の日には一部開館が予定されています。

このようなゆかりの地を実際に訪れることは、日本を守ってきてくださった皇室を身近に感じることができる貴重な体験になるのではないのでしょうか。お住まい周辺にも、探してみると皇室ゆかりの地があると思います。ぜひ調べ、訪れてみてください。日本の良さを感じられる機会となるはずです。

※写真はすべて筆者撮影。

